|

主要国の受動喫煙防止法の施行状況(その他の国3)

			各種施設			公	公共交通機関および自家用車			公共的施設												
番号	2012年時点	防 受 動 喫煙	官公庁	医療施設	教育施設	大学	一般企業	業務用車両	飛行機	列 車	フェリー	バス、路面電車	タクシー	自家用車	文化施設	センター ショッ ピング	パブ・バー	ナイトクラブ	レストラン	喫煙室の容認	罰則	備考
Other-31	ベトナム	政府決定	0	0	0		Δ	0	0	0	_	0	0		0	_	Δ	Δ	Δ		罰金	※注22
Other-32	ブルネイ	国法	0	0	0	0	Δ	0	Δ	×	×	0	0	×	0	0			0	あり	罰金	
Other-33	モンゴル	国法	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	あり	罰金	※注23
Other-34	エクアドル	国法、行政命令 条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0			
Other-35	ウルグアイ	国法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0		罰金	
Other-36	コロンビア	国法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
Other-37	バルバドス	国法	0	0	0	0	0	0	_	_		0	0	×	0	0	0	0	0			
Other-38	グアテマラ	国法	0	0	0	0	0	0	0			0	0	-	0	0	0	0	0	ホテルの客 室	罰金	※注24
Other-39	チリ	国法、行政命令 自主協定	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	×	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	あり	罰金	
Other-40	メキシコ	国法、州法 行政命令	Δ	Δ	0	Δ	Δ	0	0	0	Δ	0	0	×	Δ	0	Δ	Δ	Δ			
Other-41	ナミビア	国法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0			
Other-42	チャド	国法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	Δ	Δ	×	×	_			
Other-43	ケニア		0	0	0	_	0	0	0	0	_	0	0		0	_	0	0	0			
Other-44	タンザニア	行政命令、 自主協定	Δ	0	0	Δ	0	Δ	0	0	0	0	Δ	×	Δ	Δ	×	×	×			
0ther-45	コンゴ	自主協定	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	0	×	×	Δ	Δ	×	×	Δ	×	Δ	Δ			※注25

※注22 ○火災・爆発が起こりやすい場所

※注23 〇ガソリンスタンド、ガソリン・可燃物倉庫

※注24 ムホテル

※注25 △ホテル

WHO FCTC が 2012 年に実施した批准国の調査結果をもとに作成 翻訳:高橋(中田)ゆり、監訳:大和 浩

G8-1 イギリス

3.2.2	8.2	受動喫煙からの保護対策について								
		以下の適切・法的・行政的な手段等を探	を択・施行しまし	たか。						
3.2.2.1		多数の者が利用する屋内施設の 喫煙は禁止されていますか。	×はい		いいえ					
3.2.2.2		3.2.2.1 で"はい"の場合、どのような手段で禁煙を実施していますか。								
		■ 国法	×はい		いいえ					
		● 州法	□はい		いいえ					
		● 行政命令	□はい		いいえ					
		● 自主協定	口はい		いいえ					
		● その他の手段(詳細:)	□はい		いいえ					
3.2.2.3		禁煙の実施手段の概要を記入。								
3.2.2.4		3.2.2.2 で "はい"の場合、施行のためのシステムがともなっていますか。	×はい		いいえ					
3.2.2.5		3.2.2.4 で"はい"と答えた場合は、システム/社会基盤の詳細を記入。								
		Across the UK, smokefree legislation is e イギリス全土で、地方自治体が受動喫煙	•							
3.2.2.6		3.2.2.1 で"はい"の場合、以下の施設 の規定・範囲/完全性を記入。	完全規制	部分規制	規制なし					
		屋内の職場:								
		● 官公庁	×							
		● 医療施設	×							
		● 教育施設	×							
		● 大学	×							
		● 一般企業	×							

	● その他(詳細:)									
	公共交通機関:									
	● 飛行機	×								
	● 列車	×								
	● フェリー	×								
	● 陸上公共交通機関	×		П						
	● (バス、トロリーバス、列車)	, ,								
	業務用車両(タクシー、救急車、配達車)	×								
	● 自家用車			×						
	● その他									
	多数の者が利用する屋内施設(飲食店	等のサービス	産業など):							
	● 文化施設	×								
	ショッピングセンター	×								
	● パブ・バー	×								
	サイトクラブ	×								
	● レストラン	×								
	● その他(詳細:)									
3.2.2.7	完全禁煙/部分的禁煙の実施手段の構	完全禁煙/部分的禁煙の実施手段の概要・詳細を記入。								
	● 屋内の職場での禁煙									
	Legislation is in place throughout the U in enclosed parts of workplaces and pul Kingdom, virtually all enclosed public smokefree, including all pubs, member July 2007. イギリス全土の屋内の職場・多数の者が施行されている。2007年1月よりパブ、多数の者が利用するすべての施設と職	blic places. The places and wo so clubs, cafes and wo so clubs, cafes and many cafes and many cafes and many cafe and many caf	Throughout th orkplaces must and restaurant での喫煙を禁 カフェ、レスト	te United t be ts as of 1 じる法律が ランを含む						

In England, the relevant legislation is within the Health Act 2006, the Smoke-free (Premises and Enforcement) Regulations (set out what is meant by enclosed and substantially enclosed and bodies responsible for enforcing smoke-free), the Smoke-free (Penalties and Discounted Amounts) Regulations (set out the levels of penalties for offences under smoke-free legislation, and the Smoke-free (Signs) Regulations (set out the requirements for no-smoking signs required under smoke-free legislation).

イングランドにおける受動喫煙防止に関する法律には、2006年の健康法がある。禁煙(その根拠と施行)規制(屋内の場所での禁煙政策を管轄する機関)、禁煙(罰則と減刑)規制(受動喫煙防止法違反への罰則規模)、禁煙(標識)規制(受動喫煙防止法に準じた禁煙標識)が規定されている。

● 公共交通機関での禁煙

The Smoke-free (Exemptions and Vehicles) Regulations set out the vehicles required to be smokefree including those used by member of the public. The Smoke-free (Vehicle Operators and penalty Notices) Regulations set out the responsibility on vehicle operators to prevent smoking in smokefree vehicles and the form for fixed penalty notices.

禁煙(例外と車両)規制は、公共交通機関も禁煙の対象にした。禁煙(運転士と 罰則通知)規定は、運転士には禁煙車両での喫煙を防止する責任があるとし た。また、罰則通知の書式も規定している。

多数の者が利用する屋内施設(飲食店等のサービス産業など)(飲食店等のサービス産業など)での禁煙

See above. 同上。

3.2.2.8 条約第8条(タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約)の履行にあたって、過去2年間または前回のレポート提出からどのように進歩したかを記入。

Across the United Kingdom, comprehensive smokefree legislation has been in place since at least July 2007. In England, compliance rates are around 98% according to the final complaince data report received in mid-2010. More than three-quarters of people say they support smokefree laws.

イギリス全土において、包括的な受動喫煙防止法は、遅くとも2007年の段階で整備されていた。イングランドが2010年半ばに集計した最新の遵守に関する調査では、遵守率は98%である。4分の3を超える国民が受動喫煙防止法を支持している。

3.2.2.9 このセクションで網羅されていない関連情報がある場合は、以下の欄に記入。

Health Act 2006 available online at:

2006年の健康法は、オンラインで閲覧可能。

http://www.legislation.gov.uk/ukpga/2006/28/contents

The "Smokefree England: One Year On" report presents a review of the legislation covering compliance, public opinion, the views of businesses and academic research into the health benefits of a smokefree England. Available online at:

http://www.smokefreeengland.co.uk/thefacts/latest-research.html

「イングランド 禁煙化から1年レポート」では、イングランドに禁煙化がもたらした健康利益、コンプライアンス、世論、ビジネス観、学術研究等について詳述。上記URLで閲覧可能。

Summary of the findings of the smokefree legislation compliance data collection from local authorities in England from July 2007 to July 2010 available online at:

http://www.smokefreeengland.co.uk/files/83840-coi-smokefree-compliance_period_ta gged-13.pdf

2007年~2010年イングランド地方自治体受動喫煙防止法遵守調査結果概要データ集は、上記URLで閲覧可能。

In 2011, an academic review of the evidence of the impact of the smokefree legislation that was implemented in England in 2007 was published. The evidence is clear that smokefree legislation has had beneficial effects on health. The report is available at:

 $http://www.dh.gov.uk/prod_consum_dh/groups/dh_digitalassets/documents/digitalasset/dh_124959.pdf$

2011年、2007年の受動喫煙防止法がイングランドに与えた影響のエビデンスに関する 学術考察が発表された。受動喫煙防止法が健康に有益であるというエビデンスが明確 になった。レポートは上記URLで閲覧可能。

Further information, guidance and resources (including signage) for smokefree legislation in England is available online at:

http://www.smokefreengland.co.uk/

イングランドの受動喫煙防止法ガイダンスと資料(標識含む)に関する詳しい情報は、上記URLで閲覧可能。

Further information, guidance and resources (including signage) for smokefree legislation in Scotland is available online at:

http://www.clearingtheairscotland.com/

スコットランドの受動喫煙防止法ガイダンスと資料(標識含む)に関する詳しい情報は、上記URLで閲覧可能。

Further information, guidance and resources (including signage) for smokefree legislation in Wales is available online at:

http://wales.gov.uk/smokingbanwalessub/home/?lang=en

ウェールズの受動喫煙防止法ガイダンスと資料(標識含む)に関する詳しい情報は、上記URLで閲覧可能。

Further information, guidance and resources (including signage) for smokefree legislation in Northern Ireland is available online at:

http://www.spacetobreathe.org.uk/

北アイルランドの受動喫煙防止法ガイダンスと資料(標識含む)に関する詳しい情報は、 上記 URL で閲覧可能。

G8-2 ドイツ

3.2.2	8.2	受動喫煙からの保護対策について							
		以下の適切・法的・行政的な手段等を採	以状・施行しましたか。)					
3.2.2.1		多数の者が利用する屋内施設の 喫煙は禁止されていますか。	×はい	□いいえ					
3.2.2.2		3.2.2.1 で"はい"の場合、どのような手段	で禁煙を実施してい	ますか。					
		● 国法	×はい	□いいえ					
		● 州法	×はい	□いいえ					
		● 行政命令	口はい	×いいえ					
		● 自主協定	口はい	×いいえ					
		● その他の手段(詳細:)	口はい	□いいえ					
3.2.2.3		禁煙の実施手段の概要を記入。							
		Workplace - general (national workp職場 - 全般(国家職場法) The employers has to take necessary meemplyees from tobacco related health rissue a general smoking ban or one rest workplace. 雇用主はタバコに関連した健康リスクかに、必要な対策を取らなければならない禁煙にするか、職場内にひとつ特定の禁	easures to protect noisk. If necessary, the ricted to individual らタバコを吸わないで、雇用主は、必要に	e employer must areas of the					

Regulations at federal level: 連邦規模の規制:

The employer has to take "all necessary measures to effectively protect non-smoking employees against the health hazards of tobacco smoke in the workplace". The amendment in 2008 specified that a ban on smoking in the workplace is one of the ways to provide protection. In workplaces open to the public (i.e. primarily hospitality sector but also other areas where smoking by customers and visitors is allowed) the employers' obligations are more limited. The federal government prohibited smoking in government buildings, on public transport (including taxis) and at public transport stations.

雇用主は"タバコを吸わない従業員をタバコの害から守るために必要な対策をすべて"取らなければならない。2008年の法改正は、受動喫煙対策のひとつとして、職場での禁煙に特化した。多数の者が出入りできるような職場(飲食店だけでなく、顧客や訪問者による喫煙が認められている場所)では、雇用主の義務はわずかである。連邦政府は官公庁、公共交通機関(タクシー含む)、公共交通機関の駅での喫煙を禁止した。

Regulations at Länder (state) level: 州規模の規制:

In March 2007 the Germany's 16 Länder concluded a framework agreement with the federal government on introducing a smoking ban in the areas where the states have responsibility (Land, local institutions, educational facilities, health care facilities, cultural institutions, sport facilities, hospitality venues and other public places). Each Land had to enact the law through its own legislature.

2007年3月、ドイツ連邦政府と16の州は、管轄地域(土地、地方施設、教育施設、医療施設、文化施設、スポーツ施設、飲食店等の多数の者が利用する施設)を禁煙とする枠組みについて合意した。各州が州議会で、法律を制定した。

設)を禁煙とする枠組みについて合意した。各州が州議会で、法律を制定した。 3.2.2.4 **3.2.2.2 で "はい"の場合、施行のため** ×はい □いいえ

3.2.2.4 で"はい"と答えた場合は、システム/社会基盤の詳細を記入。

Law enforcement lies within the responsibility of the local level, there are fines defined within the law.

地方政府が取り締まりを行う。法には罰金規定がある。

のシステムがともなっていますか。

屋内の職場:

3.2.2.6

3.2.2.5

	● 官公庁	×		
	● 医療施設	×		
	● 教育施設		×	
	● 大学		×	
	● 一般企業		×	
	● その他(詳細:)			
	公共交通機関:			
	● 飛行機	×		
	● 列車	×		
	● フェリー		×	
	● 陸上公共交通機関(バス、トロリーバス、列車)	×		
	業務用車両(タクシー、救急車、配達車)	×		
	● 自家用車			×
	● その他(詳細:)			
	多数の者が利用する屋内施設(飲食店	等のサービス	産業など):	
	● 文化施設		×	
	ショッピングセンター		×	
	・パブ・バー		×	
	サイトクラブ		×	
	● レストラン		×	
	● その他(詳細:)			
3.2.2.7	完全禁煙/部分的禁煙の実施手段の	概要・詳細を記	人。	
	● 屋内の職場での禁煙			
	Employers obliged to protect non-smoke Länder (state) level except for workplace		_	federal and

	連邦・州規模で、タバコを吸わない従業員を受動喫煙から保護することが、雇 用主に義務付けられている。多数の者が訪れるような職場は例外となっている。					
	 公共交通機関での禁煙 					
	Yes 禁煙である。					
	● 多数の者が利用する屋内施設(飲食店等のサービス産業など)での禁煙					
	Yes, separate smoking rooms are allowed					
	禁煙である。隔離された喫煙室の設置が認められている。					
3.2.2.8	条約第8条(タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約)の履行にあたって、過去2年間または前回のレポート提出からどのように進歩したかを記入。					
	w on Länder (state) level with a complete smoking ban in Bavaria, Saarland. ルン州とザールラント州で、完全禁煙を盛り込んだ新しい州法が制定された。					

G8-3 カナダ

3.2.2	8.2	受動喫煙からの保護対策について						
		以下の適切・法的・行政的な手段等を採択・施行しましたか。						
3.2.2.1		多数の者が利用する屋内施設の 喫煙は禁止されていますか。	×はい	□いいえ				
3.2.2.2		3.2.2.1 で"はい"の場合、どのような手段で禁	*煙を実施していま	すか。				
		● 国法	×はい	□いいえ				
		● 州法	×はい	□いいえ				
		● 行政命令	×はい	□いいえ				
		● 自主協定	×はい	□いいえ				
		● その他の手段(詳細:州法による規制)	×はい	□いいえ				
3.2.2.3		禁煙の実施手段の概要を記入。						
		Canada has comprehensive national and sub r	national legislation p	protecting				
		Canadians from exposure to tobacco smoke.	Annex A provides	a summary of				
		select federal, provincial and municipal meas	ures.					
		カナダでは、国民を受動喫煙から保護するた	とめの包括的な国法	5、州法が制定さ				

れている。連邦法、州法、地方条例の概要は添付資料Aに記載。

Annex A

Sub national measures protecting Canadians from exposure to tobacco smoke.

添付資料A 州法によるカナダ国民の受動喫煙からの保護

Nunavut ヌナブト準州

Nunavut's Tobacco Control Act prohibits the sale of tobacco products to persons under 19, the prohibition of sale of products appearing to be tobacco products, due diligience and vicarious liability, tobacco displays and sales, prohibition of sale of tobacco in certain settlings (nursing homes, health facilities, pharmacies, etc.), packaging and signs, and controls related to smoking tobacco (prohibition of smoking in the workplace, and a minimum distance from public entries and exits). There are also provisions in the Act related to inspection and enforcement of the Act.

ヌナブト準州のタバコ規制法は、19歳未満の者へのタバコの販売禁止、タバコに類似した製品の販売禁止、タバコの陳列と販売方法、特定の場所でのタバコの販売禁止(老人ホーム、医療施設、薬局等)、包装とマーク、喫煙規制(職場、出入り口から近い場所での喫煙禁止)等を定めている。同法には、検査と取り締まりに関する規定も存在。

British Columbia ブリティッシュコロンビア州

The government of British Columbia has enacted the Tobacco Control ACT (TCA) section 2.3 and the Tobacco Control Regulation (TCR) section 4.22 which bans smoking in indoor public and work spaces and provides a 3 meter buffer zone from doorways, open windows and air intakes. This legislation applies throughout British Columbia (BC).

ブリティッシュコロンビア州政府は、タバコ規制法(TCA)第2.3条とタバコ規制法第4.22条を施行した。同法は多数の者が利用する屋内施設(飲食店等のサービス産業など)、屋内の職場、出入り口や窓の開口部から3m以内の場所を禁煙にしている。この州法は、ブリティッシュコロンビア州全域で適用されている。

Alberta アルバータ州

In Alberta, the Tobacco Reduction Act and Tobacco Reduction Regulation prohibit smoking in indoor public places, workplaces, public vehicles, work vehicles and within 5 metres from a doorway, window or air intake to a public place or workplace.

アルバータ州では、タバコ削減法とタバコ削減規制法により、多数の者が利用 する屋内施設(飲食店等のサービス産業など)、職場、公用車、商用車、出入り 口から5m以内、窓から5m以内、建物の吸気口から5m以内での喫煙が禁じられている。

In Alberta, certain communities have bylaws that are more restrictive than the provincial legislation. These bylaws offer further protection from second-hand smoke. Some of them include bans on smoking in cars with children present, while other municipalities ban smoking within hotel rooms.

アルバータ州では、州法よりも厳しい条例のある自治体もある。このような条例には、さらなる受動喫煙保護対策が盛り込まれている。ホテルのすべての客室内での喫煙を禁止、あるいは、子どもを乗せた自家用車での喫煙を禁止した地方自治体が存在する。

The Alberta Health Services Tobacco and Smoke Free Environments Policy prohibit the use of tobacco products and prevent exposure to second hand smoke at Alberta Health Services sites across the province.

アルバータ州保健局による禁煙環境政策は、管轄している州内全域において 葉巻やシガーを含むすべてのタバコ製品の使用を禁止し、受動喫煙を防止し ている。

Saskatchewan サスカチュワン州

The Ministry of Health's Tobacco Control Act prohibits smoking or holding lit tobacco in enclosed public places (EPP), within 3 metres of an EPP, and bans all tobacco use on school grounds. The Act and Regulations can be found at: http://www.qp.gov.sk.ca/documents/english/Statutes/Statutes/t14-1.pdf http://www.qp.gov.sk.ca/documents/english/Regulations/Regulations/t14-1r1.pdf 保健省によるタバコ規制法は喫煙、点火されたタバコを屋内で持つこと、屋内から3m以内で持つことを禁止し、学校の敷地内ですべてのタバコ製品の使用を禁止している。タバコ規制法と規制は、上記URLを参照。

Smoking is banned in all enclosed workplaces and worksites in Saskatchewan by section 77 of the Saskatchewan Occupational Health and Safety Regulations. There are some exemptions that are listed in the link below: http://www.lrws.gov.sk.ca/new-workplace-smoking-ban-faq サスカチュワン州の労働衛生安全規制法第77条により、サスカチュワン州では、すべての屋内の職場や仕事場での喫煙が禁止されている。上記URLの一覧表にあるような例外もある。

In some municipalities, the bylaws go beyond the provincial legislation to ban smoking in certain outdoor spaces, such as outdoor eating areas. Some stadiums are also voluntarily designated as smoke-free spaces.

地方自治体によっては、飲食店の屋外のテラス席等の屋外の場所も禁煙とする 等、州法よりも厳しい条例が施行されている。自主的に全面禁煙としたスタジア ムもある。

Manitoba マニトバ州

Manitoba provides a complete ban on smoking in enclosed public places and indoor workplaces.

マニトバ州では、多数の者が利用するすべての施設と職場が完全禁煙。

Ontario オンタリオ州

The Smoke-Free Ontario Act (SFOA) came into force on May 31, 2006. The SFOA prohibits smoking in all enclosed public places and workplaces and prohibits retailers from selling tobacco products to a person less than 19 years of age.

http://www.e-laws.gov.on.ca/html/statutes/english/elaws_statutes_94t10_e.htm http://www.e-laws.gov.on.ca/html/regs/english/elaws_regs_060048_e.htm 受動喫煙防止法が2006年3月31日に施行された。受動喫煙防止法は、すべての多数の者が利用する施設と職場での喫煙を禁止し、小売業者が19歳未満の者へタバコを販売することを禁止した。詳しくは、上記URLを参照。

Québec ケベック州

L'usage du tabac est interdit dans pratiquement tous les lieux fermés autre qu'une demeure. Dans certains lieux précis, pour les personnes hébergées, il est possible de fumer dans un fumoir fermé et ventilé.

屋内の喫煙は、すべての密閉空間で禁止されている。ただし、個人の居住区、 および、排気装置のある喫煙室は除外されている。

Prince Edward Island プリンスエドワード島

Provincial Smoke-Free Places Act: 受動喫煙防止に関する州法 http://www.gov.pe.ca/health/index.php3?number=1020688&lang=E

Nova Scotia ノバスコシア州

Smoke Free Places Act prohibits smoking in indoor workplaces, 4 meters away from air intake vents and opening windows, prohibits smoking in vehicles with passengers under 19 and in outdoor places where alchool and food are served. 受動喫煙防止法により、屋内の職場、および、建物の吸気口や窓の開口部から4m以内、19歳未満の子どもを乗せた車両、アルコール類や食事が提供される屋外の場所での喫煙を禁止している。

Newfoundland and Labrador ニューファンドランド・ラブラドール州

資料 6	The Courte Fore Foreign west 4 at 2005 muchibits ampling in analoged public						
	The <i>Smoke-Free Environment Act</i> , 2005 prohibits smoking in enclosed public places (e.g., restaurants, bars including patio decks, bingo halls, ferries),						
	workplaces and in motor vehicles when people under the age of 16 are present as						
	passengers. http://assembly.nl.ca/Legislation/sr/statutes/s16-2.htm						
	2005年の受動喫煙防止法により、多数の者が利用する施設内(例:レストラン、						
	テラスデッキを含むバー、ビンゴホール、フェリー)、職場、16未満の子どもが同						
	乗している自動車での喫煙を禁止している。詳しくは、上記URLを参照。						
3.2.2.4	3.2.2.2で "はい"の場合、施行のための ×はい □いいえ システムがともなっていますか。						
3.2.2.5	3.2.2.4 で"はい"と答えた場合は、システム/社会基盤の詳細を記入。						
	National, sub national and municipal legislation provides enforcement support related to specific legislation and regulations. Annex B provides a highlight of the various mechanisms and infrastructure for support. 国法、州法、地方条例は、特定の立法に関連した規制の取り締まり支援につい						
	て定めている。様々な仕組みや社会基盤の概要は、添付資料 B に記載。						
3.2.2.6	3.2.2.1 で"はい"の場合、以下の施設の 規定・範囲/完全性を記入。 完全規制 部分規制 規制なし						
	屋内の職場:						
	● 官公庁 × □ □						
	● 医療施設 × □ □						
	● 教育施設 × □ □						
	● 大学 × □ □						
	● 一般企業						
	・ その他 (詳細: Designated smoking rooms (DSR) are permitted by a few sub-national jurisdictions in very limited circumstances (eg: in some cases on a compassionate basis) where traditional public spaces are deemed to be residential.(ie: palliative care and addiction treatment facilities where residents have permanent or extended						

は利用されていない。) 公共交通機関:										
×										
×										
×										
×										
×										
	×									
等のサービス	産業など):									
×										
×										
×										
×										
×										
1										
	× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	X								

(詳細: Group living facilities and specified hotel rooms. Extensive regulations exsist for ventilation and for resident use only

集団生活の場、ホテルの一部の喫煙用の客室。換気装置のある喫煙専用室。)

3.2.2.7

完全禁煙/部分的禁煙の実施手段の概要・詳細を記入。

● 屋内の職場での禁煙

Canada has comprehensive smoke free legislation in public workplaces, primarily governed through sub national jurisdictions. Recognizing that over 98% of indoor workplaces in Canada are smoke free, there do exist in a limited number of jurisdictions provisions for tightly regulated designated smoking rooms in indoor workplaces.

カナダは公共の職場を対象とした包括的な受動喫煙防止法を制定しており、州で施行されている。カナダの98%を越える屋内の職場が禁煙となっている。限られた州においてではあるが、厳しい規定の下で喫煙室が屋内の職場に設置されている。

● 公共交通機関での禁煙

National and sub-national jurisdictions provide for complete smoking bans in public transportation. A number of jurisdictions have implemented smoking bans in private vehicles where children are present. (The majority of jurisdictions identify children as under 16 with one jurisdiction under 19 years of age.)

国、州は公共交通機関を完全禁煙にしている。多くの州は子どもを乗せた自家 用車での喫煙を禁止している。(ほとんどの州は16未満の子どもを対象としてい る。1つの州のみ19歳未満を対象。)

● 多数の者が利用する屋内施設(飲食店等のサービス産業など)での禁煙

Canada has virtually eliminated smoking in all indoor public places with the exception of group living facilities and specified hotel rooms. The number of designated smoking rooms has been drastically reduced.

カナダは多数の者が利用する屋内施設(飲食店等のサービス産業など)での喫煙を実質的に禁止したが、集団生活施設や特定のホテルの部屋は例外としている。喫煙室の数は大幅に減少している。

3.2.2.8

条約第8条(タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約)の履行にあたって、過去2年間または前回のレポート提出からどのように進歩したかを記入。

There have been extensive developments in implementing Article 8. Comprehensive smoke-free legislation has been passed in all sub-national jurisdictions and numerous municipalities in Canada have adopted bylaws or policies to prohibit smoking in public places such as patios, play grounds and parks.

枠組条約第 8 条履行にあたり大きな進歩があった。包括的な受動喫煙防止法はカナダのすべての州や多くの自治体で可決され、テラス、遊び場、公園等の多数の者が利用する施設での喫煙を禁止する付属定款や方針が採用された。

Health Canada has provided funding for the development of tools, resources, guidebooks and knowledge transfer impacting smoke-free places and the dangers of second hand smoke. NGOs, universities, other governmental departments and agencies have received project funding supporting web based and hard copy resource material impacting smoke-free spaces in the home, car, public places, workplaces and public health and educational facilities. A detailed report on activities supporting the implementation of Article 8 is attached as Annex C

カナダ保健省は、職場における禁煙や受動喫煙の危険性を啓発するツール、資料、ガイドブック等の開発、団体間での知識共有を行うための財政支援を行った。NGO、大学、その他の政府省庁・機関が、家庭、車、多数の者が利用する施設、職場、公衆衛生施設、教育施設での禁煙について取り扱った、インターネットや書類ベースの資料作成のための財政支援を受け取った。枠組条約第8条履行についての活動の詳細は添付資料Cに記載。

G8-5 イタリア

3.2.2	8.2	受動喫煙からの保護対策について							
		以下のような適切・法的・行政的な手段等を採択・施行しましたか。							
3.2.2.1		多数の者が利用する屋内施設の 喫煙は禁止されていますか。	×はい	□いいえ					
3.2.2.2		3.2.2.1 で"はい"の場合、どのような手段で禁煙を実施していますか。							
		● 国法	口はい	□いいえ					
		● 州法	口はい	□いいえ					
		● 行政命令	口はい	□いいえ					
		● 自主協定	口はい	□いいえ					
		● その他の手段(詳細:)	口はい	□いいえ					

3.2.2.3	禁煙の実施手段の概要を記入。							
3.2.2.4	3.2.2.2 で "はい"の場合、施行のため のシステムがともなっていますか。	口はい]いいえ				
3.2.2.5	3.2.2.4 で"はい"と答えた場合は、システ	ム/社会基盤	紫の詳細を記え	∖ ₀				
3.2.2.6	3.2.2.1 で"はい"の場合、以下の施設 の規定・範囲/完全性を記入。	完全規制	部分規制	規制なし				
	屋内の職場:							
	● 官公庁		×					
	● 医療施設	×						
	● 教育施設		×					
	● 大学							
	● 一般企業		×					
	● その他 (ambulances 救急車)	×						
	公共交通機関:							
	● 飛行機	×						
	● 列車	×						
	● フェリー	×						
	● 陸上公共交通機関(バス、トロリーバス、列車)	×						
	業務用車両(タクシー、救急車、配達車)	× タクシー 救急車		× 配達車				
	● 自家用車							
	● その他(詳細:クルーズ船、フェリー)	×						
	多数の者が利用する屋内施設(飲食店	等のサービス	産業など):					

貝件 0									
	● 文化施設		X						
	ショッピングセンター								
	• /i		×						
	サイトクラブ		X						
	● レストラン		×						
	● その他(詳細:)								
3.2.2.7	完全禁煙/部分的禁煙の実施手段		入。	I					
	■ 屋内の職場での禁煙								
	consequence of the smoking ban, to eshould rather be understood as an opti and services and workplaces intending such a case, premises have to comply the above-mentioned Decree 23 Dece not in full compliance with the require as a "no-smoking" premise. 2005年1月10日から部分的に禁煙とした場合、標識を掲示していない場合、禁煙政策によって誰かが"喫煙者専りこの政策により多数の者が利用する時間、施設を提供する選択肢が与えられ設は上述の2003年12月の法律が課い。しかし、施設が法律の要件を満たしてのみ利用されなければならない。	on available to pug to offer such prewith the technical mber 2003. Obvernents of this Decardon (1997) (2007) (20	blic commerce mises to smoke requirements iously, if the paree. It can onle 所で喫煙したせられる。イタタは発生しないス、職場に、"べきである。それにおなけれ	ial shops ters. In imposed by oremise is y be used 場合、違反 ツアでは、 、 喫煙者専 の場合、施 ばならな					
	complete ban since January, 10th 2005. Fines for smoking where not allowed								
	and for irregular or non signs posted 2005年1月に完全禁煙化が完了した。禁煙の場所で喫煙した場合、違反した場合、標識を掲示していない場合は、罰金が科せられる。								
	● 多数の者が利用する屋内施設(飲	食店等のサービス	産業など)での	禁煙					
	Partial ban since January, 10th 2005. for irregular or non signs posted. No		Ü						

consequence of the smoking ban, to establish "smokers only" premises. should rather be understood as an option available to public commercial shops and services and workplaces intending to offer such premises to smokers. In such a case, premises have to comply with the technical requirements imposed by the above-mentioned Decree 23 December 2003. Obviously, if the premise is not in full compliance with the requirements of this Decree. It can only be used as a "no-smoking" premise. 2005年1月10日から部分的に禁煙となった。禁煙の場所で喫煙した場合、違反 した場合、標識を掲示していない場合には、罰金が科せられる。イタリアでは、 禁煙政策によって誰かが"喫煙者専用"施設を造る義務は発生しない。むしろ、 この政策により多数の者が利用する商業施設、サービス、職場に、"喫煙者専 用"施設を提供する選択肢が与えられたと理解されるべきである。その場合、施 設は上述の2003年12月の法律が課す技術的な要件を満たさなければならな い。しかし、施設が法律の要件を満たしていなければ、"非喫煙者専用"施設と してのみ利用されなければならない。 3.2.2.8 条約第8条(タバコの規制に関する世界保健機関枠組条約)の履行にあたって、過去2 年間または前回のレポート提出からどのように進歩したかを記入。 3.2.2.9 このセクションで網羅されていない関連情報がありましたら、以下の欄に記入。 The "smokers only" premises are allowed by the Italian smoking ban but they are not very Less than 3% of bar and restaurant organized such premises. Municipalities established smoking ban in parks when in presence of children and pregnant women.

G8-8 日本

3.2.2	3.2.2 8.2 受動喫煙からの保護対策について					
		以下のような適切・法的・行政的な手段等を採択・施行しましたか。				
3.2.2.1		多数の者が利用する屋内施設の 喫煙は禁止されていますか。	口はい	×いいえ		
3.2.2.2	3.2.2.1 で"はい"の場合、どのような手段で禁煙を実施していますか。					
		■ 国法	口はい	×いいえ		
		● 州法	口はい	×いいえ		

中の女性が利用する公園を禁煙にしたイタリアの地方自治体もある。

"喫煙者専用"施設はイタリアで認められているものの、その数はあまり多くはない。わず か3%以下のバーやレストランが"喫煙者専用"施設として運営されている。子どもや妊娠

	● 行政命令	口はい	×	いいえ		
	● 自主協定	口はい	×	いいえ		
	● その他の手段(詳細:)	口はい	×	×いいえ		
3.2.2.3	禁煙の実施手段の概要を記入。					
3.2.2.4	3.2.2.2 で "はい"の場合、施行のため のシステムがともなっていますか。	□はい ×いいえ				
3.2.2.5	3.2.2.4 で"はい"と答えた場合は、システム/社会基盤の詳細を記入。					
3.2.2.6	3.2.2.1 で"はい"の場合、以下の施設 の規定・範囲/完全性を記入。	完全規制	部分規制	規制なし		
	屋内の職場:					
	● 官公庁			×		
	● 医療施設			×		
	● 教育施設			×		
	● 大学			×		
	● 一般企業			×		
	● その他(詳細:)			×		
	公共交通機関:	公共交通機関:				
	● 飛行機	×				
	● 列車			×		
	● フェリー			×		
	● 陸上公共交通機関(バス、トロリーバス、列車)			×		
	業務用車両(タクシー、救急車、配達車)			×		
	● 自家用車			×		
	● その他(詳細:)			×		
			·			